

全星薬品工業株式会社

2023年度 環境経営レポート

対象期間：2023年4月~2024年3月

作成年月日：2024年7月30日

更新日：2024年9月10日



®環境省

エコアクション21

認証番号0001846



もくじ



基本理念・環境経営方針	1
組織の概要	2
事業所紹介	3
エコアクション21役割責任権限一覧表	4
環境管理責任者からのコメント	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～12
次年度環境経営目標設定書	13～16
過去5年間の実績	17
環境経営目標の設定とその実績	18
環境法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	19
社内におけるSDGs活動紹介	20～22
トピックス	23～24
エコ年表	25
総括～代表者による全体評価と見直し・指示の結果～	26



基本理念



まごころを込めて 健康をお届けします



私たちは、良質な医薬品の安定供給を最大の使命とし、人々の健康に貢献します。

その為に、品質・技術・生産性の向上や環境の変化に順応することで、皆さまに信頼され選ばれる企業を目指します。そして、人々が未来へと存続するために、環境保全が共通の重要課題であることを認識し、地球環境に優しいメーカーとして、目標を持って環境保全活動に努めてまいります。

環境経営方針



わが社は、次世代に住みよい地球環境を残すべく、以下の重点項目を中心とした環境負荷を適切に評価し、環境マネジメントシステムに基づく継続的改善に、全員参画を以って取り組みます。

なお、社会に浸透しつつある「SDGsへの取り組み」を追加し、持続可能な未来づくりを目指します。

- 1) 省エネルギー化の推進によるCO2排出量の削減。
- 2) 廃棄・排水量の削減およびリサイクル活動の推進。
- 3) 全社的なペーパーレス化推進による紙使用量の削減。
- 4) 化学物質等の適正管理、環境関連法規・その他要求事項の遵守。
- 5) 地域活性化として、植樹・緑化および近隣清掃活動の推進。
- 6) SDGsへの取組(環境・安全衛生・地域共生を中心とする)。

代表取締役社長

澤井俊哉

2007年 1月15日 (初版制定)
2022年 8月23日 (第6版制定日)



組織の概要



1. 事業所名及び代表者氏名

全星薬品工業株式会社 代表取締役社長 澤井 俊哉

2. 所在地

<本社>

〒545-0051

大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7号

あべのメディックス13階

<岸和田工場・研究所>

〒596-0808

大阪府岸和田市三田町380番地

<和泉工場>

〒594-1157

大阪府和泉市あゆみ野3丁目2番6号

3. 環境管理責任者

環境管理責任者：生産本部 副本部長 東尾 孝祐

4. 事業の内容

医薬品の開発と製造及び販売

5. 事業の規模（2023年度）

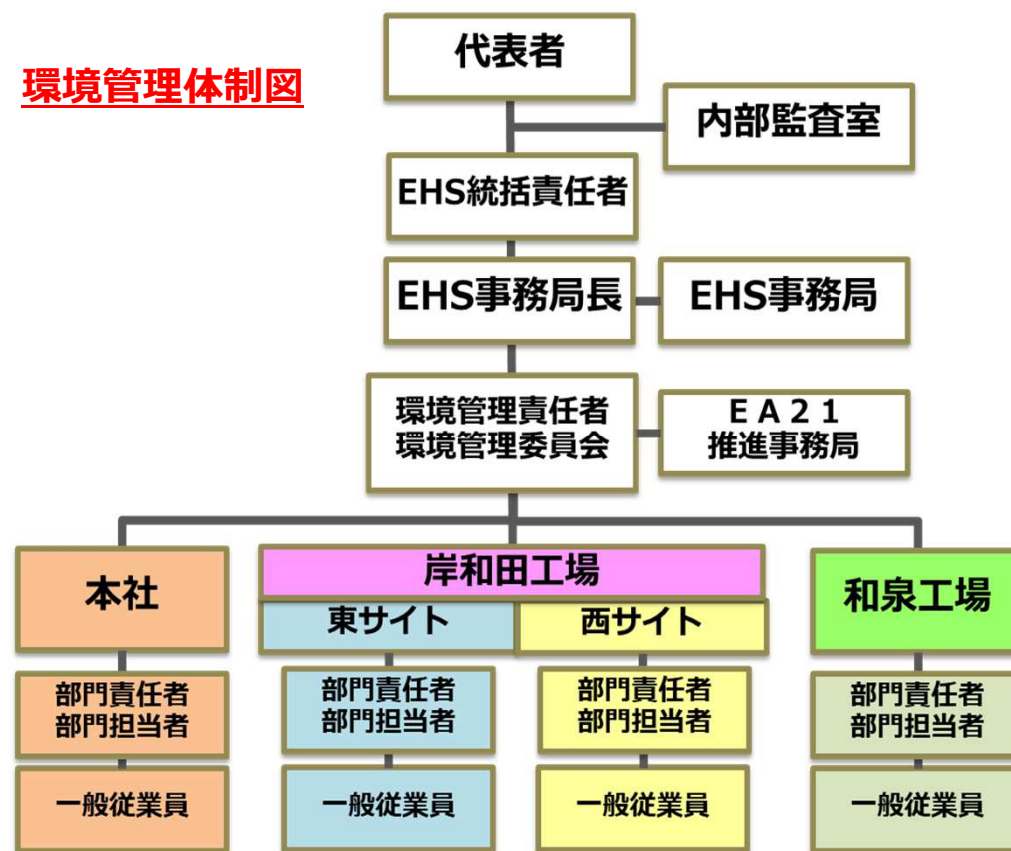
生産量・売上高：3,164,006千錠・19,655百万円

従業員数（派遣等含む）：874名（2024年3月1日時点）

6. 活動を行う対象組織

	本社	岸和田工場		和泉工場	合計
		東サイト	西サイト		
従業員数	64名	470名	124名	216名	874名
敷地面積 ※本社は延床面積	881.52m ²	17,509m ²	4,386m ²	29,144m ²	51,921m ²

環境管理体制図



事業所紹介



本 社



和泉工場



【生產品目】

経口固形製剤

【特 徴】

1Day1Lot生産ライン
昼夜自動無人設備
新機能設備

岸和田工場



【生產品目】

経口固形製剤

【特 徴】

独自の低コスト製造技術
少量多品種
昼夜自動無人設備



エコアクション21役割責任権限一覧表



対象	役割・権限・責任
代表者（経営者）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針、環境経営目標の承認 ・環境管理責任者及び内部環境監査責任者の任命 ・環境経営レポートの最終承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
内部監査室	・E H S並びに環境経営に関する内部監査の計画・実施・報告
E H S 統括責任者	・E H S の運用に関する統括責任
E H S 事務局長	・E H S の運用に関する管理責任
E H S 事務局	・E H S の運用に関するマネジメントシステムの運営
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・運用・維持 ・環境経営レポートの承認 ・環境経営目標及び環境経営計画の承認と達成状況及び実施状況の評価 ・代表者に運用状況や取組結果を報告 ・EA21活動報告の承認
環境管理委員会	・環境経営計画の実施状況確認・承認等 ・問題点の是正・予防処置の確認・承認等 ・その他EA21活動に関する事項の確認・承認等
部門責任者	・自部門の環境経営計画の承認と報告・対策、評価及び所属員に周知 ・自部門の問題点の発見と是正及び予防処置の実施・報告・対策 ・自部門の環境経営計画の承認と報告・対策、評価及び所属員に周知
部門担当者	・自部門の環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施・報告 ・自部門の環境経営計画の策定と所属員への周知及び推進と実施状況の報告 ・自部門の文書・記録の管理と改廃
E A 2 1 推進事務局	・E A 2 1 推進（実施・運用）のとりまとめ ・環境管理委員会にてEA21活動の報告（4回／年） ・E H S事務局との連携 ・E A 2 1 推進における庶務等 ・エコニュースの発行 ・ポスター等の掲示
一般従業員	・各人の役割と取組の実施 ・緊急事態訓練への参加・報告 ・E A 2 1 関連実務・報告 ・教育訓練への参加・報告

環境管理責任者からのコメント



★ 高品質医薬品の安定供給、環境負荷低減およびSDGs への取り組み



2023年度はE棟が稼働し始めたことに加え、従業員数も増加しておりエネルギー使用量は増加しています。一方で、生産数量は異常逸脱など品質トラブルにより前年を下回ってしまい、原単位は前年度比109%とエネルギー効率が悪い残念な結果となってしまいました。

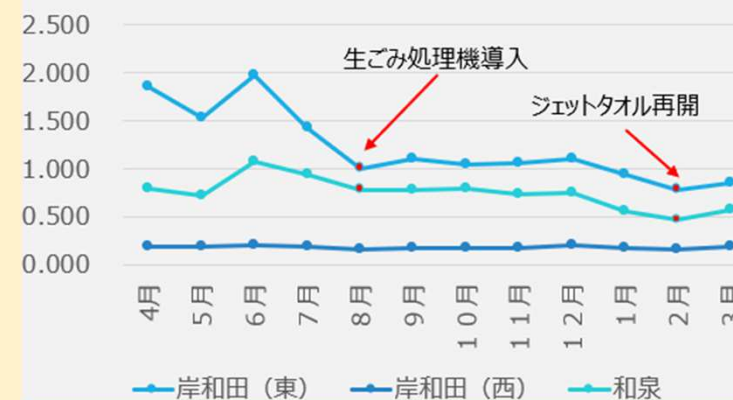
和泉工場の非化石電力を継続していることでCO2排出量は前年比99%に留めることができたこと、また新食堂の運用開始で大幅に増加見込みであった一般廃棄物は、生ごみ処理機の導入・ジェットタオルの利用再開で抑制し目標クリアできたことは良い結果であったと思います。

	2022年度	2023年度	前年比
生産数量 (億錠)	32.8	31.6	96%
従業員数 (名)	728	810	111%

※派遣社員除く

	2022年度	2023年度	前年比
エネルギー量 (KL)	6657	7000	105%
CO2排出量 (t-Co2)	6660	6613	99%
原単位 (KL/千万錠)	20.72	22.63	109%

一般廃棄物量 2023年度月別



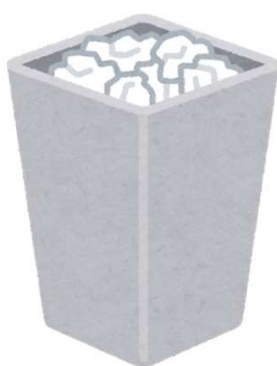
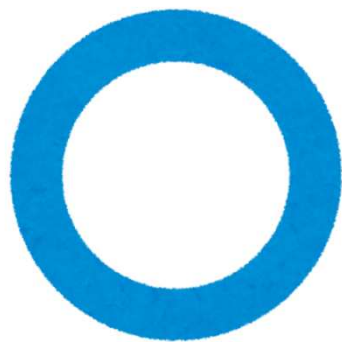
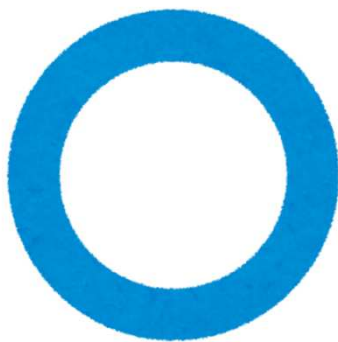
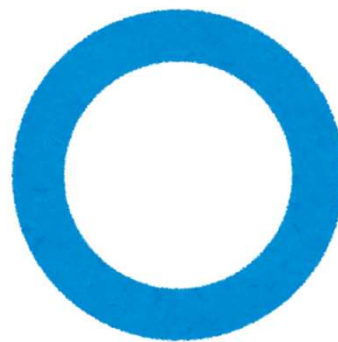
2024年度は異常逸脱の削減、増産体制で生産数量を上げることが重要となります。生産数量を積み上げて効率的な生産活動（原単位の向上）を目指しましょう。

また2023年度に目標未達となった産業廃棄物の削減にも取り組みつつ、排水量の削減など環境負荷軽減にも注視していきたいと思います。

引き続き、環境負荷低減への取り組みとSDGs への積極的な活動を推進しながら高品質な医薬品の安定供給に向けて従業員一丸となって取り組んでいきましょう！

全社の環境経営取り組み結果

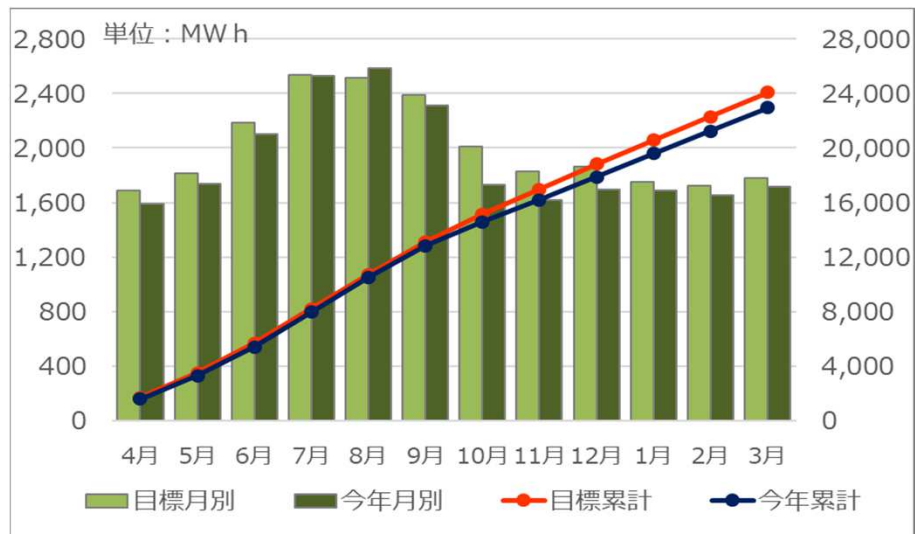


電力による 二酸化炭素排出量	燃料による 二酸化炭素排出量	一般廃棄物	産業廃棄物	排水量
				
				

電力による二酸化炭素排出量



年間排出量



目標 (t-CO ₂)	実績 (t-CO ₂)	達成率	評価
4,105	4,222	97%	×

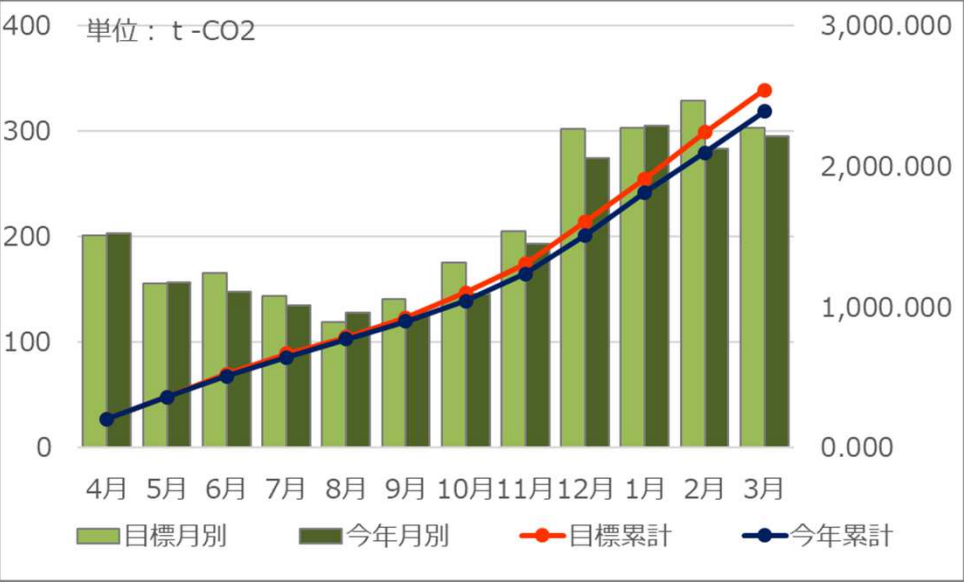
取り組み内容とその評価

	2023年度取り組み	目標 (t-CO ₂)	実績 (t-CO ₂)	達成率	評価
東サイト	①非化石電力の購入。 ②製剤A棟（2階、3階）の照明のLED化。 ③無人の部屋の照明はこまめに消す。 ④長期休暇時は作業室のエアコンは停止する ⑤残業時間の削減	3,437	3,538	97%	×
西サイト	①みんなチャレ活動によって無駄を排除し、作業効率をアップして生産性を向上させる。 ②両工場で協力してシフト生産を進め、休日出勤を抑制する。 ③生産スキル向上PJにより、チョコ停・ドカ停を削減し、稼働率90%の目標を達成して、生産性を向上する。	637	651	98%	×
本社	①不使用時におけるこまめな電源OFF（照明、空調、PC等） ②空調使用時の適正温度の維持	31.5	33.0	95%	×
和泉	①生産設備の安定稼働を行う。 ②使用していない部屋の消灯を心がける。	0	0	—	○

燃料による二酸化炭素排出量



年間排出量



目標 (t-CO ₂)	実績 (t-CO ₂)	達成率	評価
2,542	2,391	106%	○

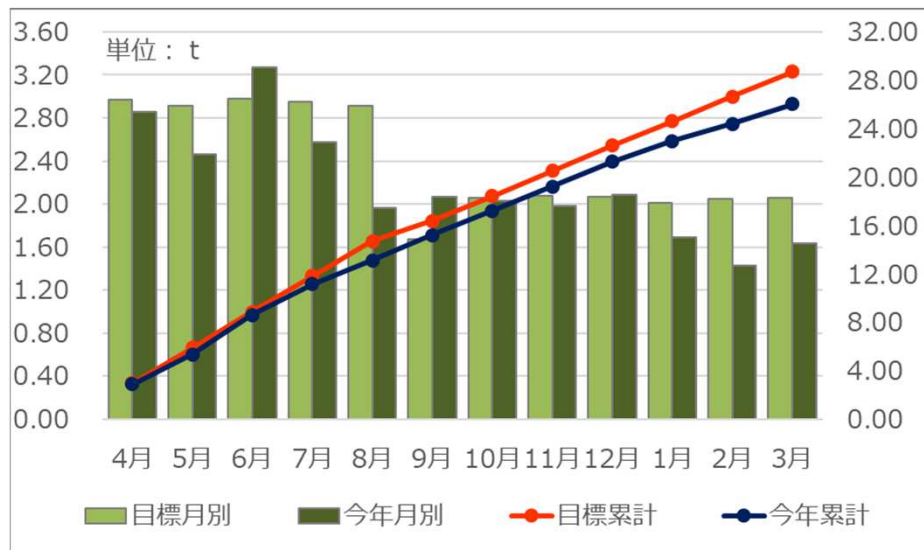
取り組み内容とその評価

	2023年度取り組み	目標 (t-CO ₂)	実績 (t-CO ₂)	達成率	評価
東サイト (西サイト分含む)	①大型連休の間はボイラーを停止し、都市ガスの使用量を削減する。	1,296	1,322	98%	×
本社	①アイドリングストップを周知する。	3.41	3.24	105%	○
和泉	①長期休暇のボイラー停止を推進する	1,242	1,066	117%	○

一般廃棄物排出量



年間排出量(焼却分)



目標 (t)	実績 (t)	達成率	評価
28.70	26.05	110%	○

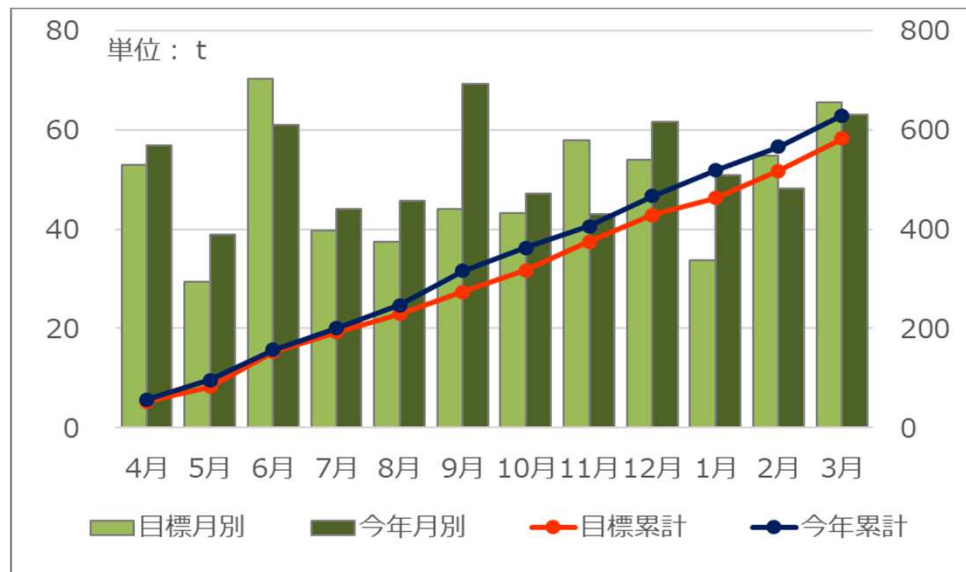
取り組み内容とその評価

	2023年度取り組み	目標 (t)	実績 (t)	達成率	評価
東サイト	①生ごみ処理機を導入し、一般廃棄物を削減する。 ②不要書類はシュレッダーで粉砕し、リサイクルに出す。 ③トイレのペーパータオルを廃止し、ジェットタオル化を図る。	16.30	14.68	111%	○
西サイト	①GMP書類のERES推進によりペーパーレス化を進める。 ②文書保管をデータ化し紙ベースの差し替え保管を削減する。管理表も同様に進める。 ③ヒューマンエラーによる逸脱を削減し開封による無駄な廃棄資材を発生させないようにする。	2.44	2.22	110%	○
本社	①ペーパーレス化に向けて、資料の両面印刷の徹底。 ②会議用資料の電子化による使用を推奨。	0.211	0.174	121%	○
和泉	①システムの再構築により紙の使用量削減を図る。 ②記録のペーパーレス化を進め、紙使用率を削減する。	9.75	8.98	109%	○

産業廃棄物排出量



年間排出量



目標 (t)	実績 (t)	達成率	評価
582.50	629.23	93%	×

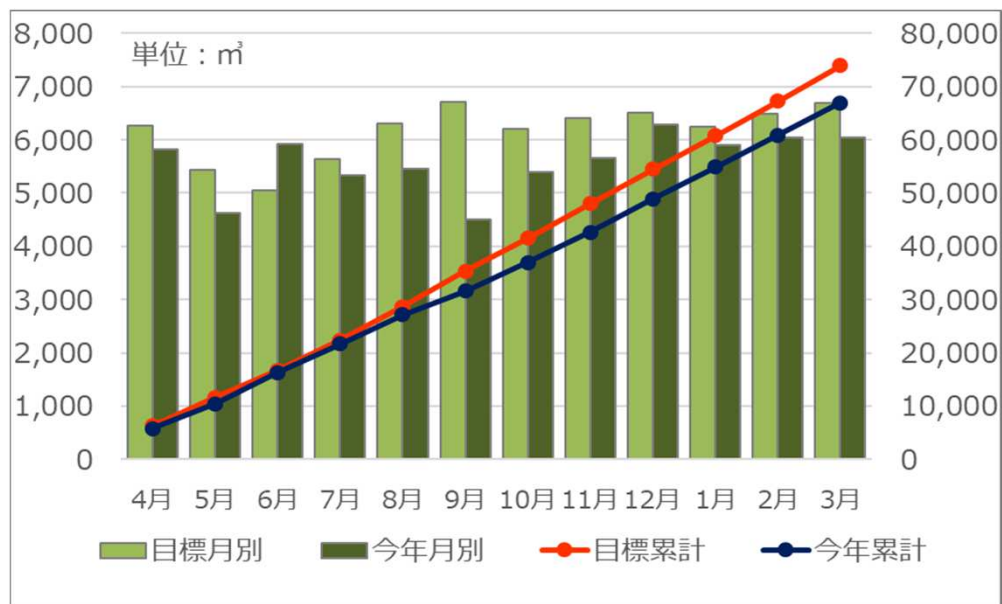
取り組み内容とその評価

	2023年度取り組み	目標 (t)	実績 (t)	達成率	評価
東サイト (西サイト分含む)	①ヒューマンエラーを10%削減し、ロットアウトを削減する。 ②品質改善によりロットアウトによる廃棄物を削減。 ③コーティング液の調製量を見直し、廃液量を削減する。	420.00	468.91	90%	×
本社	—	—	—	—	—
和泉	①ヒューマンエラー削減により廃棄量の削減を目指す。 ②生産設備の安定稼働を推進する。	162.50	160.32	101%	○

年間排水量



年間排水量



目標 (m³)	実績 (m³)	達成率	評価
73,918	66,980	110%	○

取り組み内容とその評価

	2023年度取り組み	目標 (m³)	実績 (m³)	達成率	評価
東サイト	①生産計画と連携し、清掃、洗浄頻度の見直しを実施。	38,930	37,572	104%	○
西サイト	①引き続き、準備/後始末/品替時間を短縮し、シフト生産を進めて残業時間・休日出勤を抑制する。 ②引き続き、生活水の使用を抑制するための啓蒙を実施する。	2,488	2,116	118%	○
本社	—	—	—	—	—
和泉	①連続生産による洗浄回数の削減を目指す。 ②水の出しっぱなしが無いよう節水を心がける	32,500	27,292	119%	○

その他環境への取り組み目標



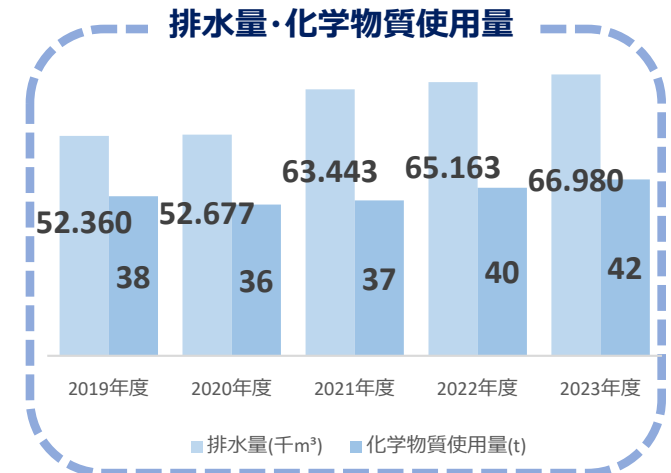
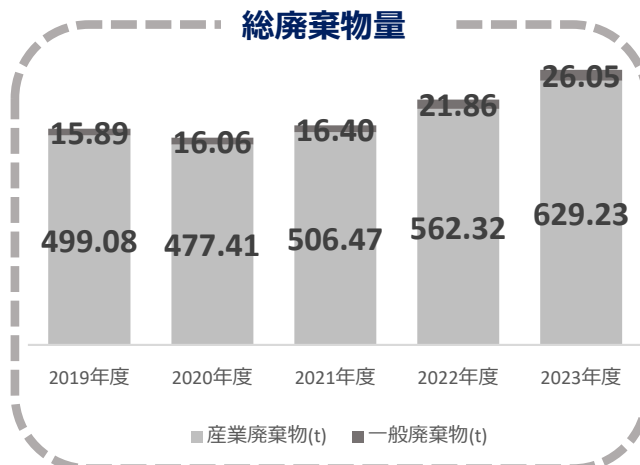
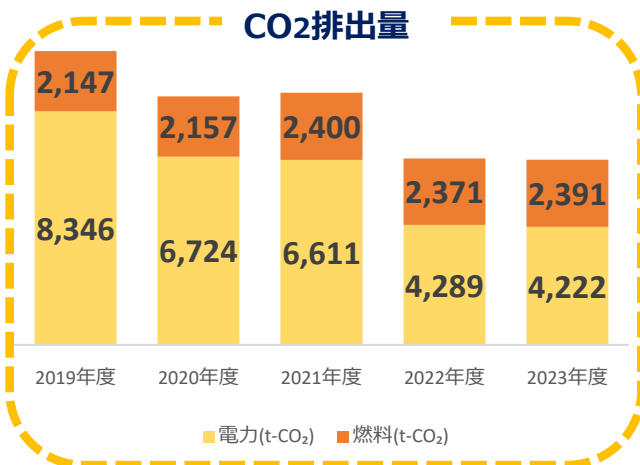
	今年度の取り組み目標	結果
ペーパーレス化の推進	ペーパーレス化のためのシステム化の実施	人事評価・目標管理やストレスチェック等、人事システムについてのデジタル化を導入し、ペーパーレス化に取り組んだ。また、新年度に向けてワークフローの導入検討および全社展開することで更なるペーパーレス化を目指す
化学物質の適正管理	ジクロロメタンの地下タンクの残量を毎朝夕確認、記録紙、漏洩が無いことを確認する	毎日在庫及び使用量を確認し、地下タンクより漏洩の無いことを確認している。また、廃液についても一般排水に流さないように廃液を別系統にし、業者に引き取りを依頼している
環境配慮品の開発	S錠開発のスケールアップ検討において、FC工程を10%エタノール水のFC溶液から水100%のFC溶液に切り替えて検討	S錠開発のスケールアップ検討においてFC工程を10%エタノール水のFC溶液から水100%のFC溶液に切り替えてができた。また、他品目についても検討中である。



過去5年間の実績



年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
期間		2019/4/1～2020/3/31	2020/4/1～2021/3/31	2021/4/1～2022/3/31	2022/4/1～2023/3/31	2023/4/1～2024/3/31	
売上高		億円	169	174	203	212	196
従業員数		人	671	704	751	795	880
生産数量		千万錠	304	269	301	328	316
CO ₂ 排出量	総CO ₂ 排出量	t-CO ₂	10,493	8,881	9,011	6,660	6,613
	購入電力	t-CO ₂	8,346	6,724	6,611	4,289	4,222
	化石燃料	t-CO ₂	2,147	2,157	2,400	2,371	2,391
廃棄物量	総廃棄物量	t	514.97	493.47	522.87	584.16	655.28
	産業廃棄物	t	499.08	477.41	506.47	562.32	629.23
	一般廃棄物	t	15.89	16.06	16.40	21.86	26.05
排水量		千m ³	52.360	52.677	63.443	65.163	66.980
化学物質使用量		t	38	36	37	40	42



※1 購入電力の二酸化炭素排出係数(CO₂/kWh)は年度ごとの関西電力の調整後排出係数を使用しています。(2023年度は2023年度調整後排出係数0.309kg-CO₂/kWh)

※2 化石燃料の排出係数については、温室効果ガス総排出量算定方法ガイドラインVer1.0を参照。

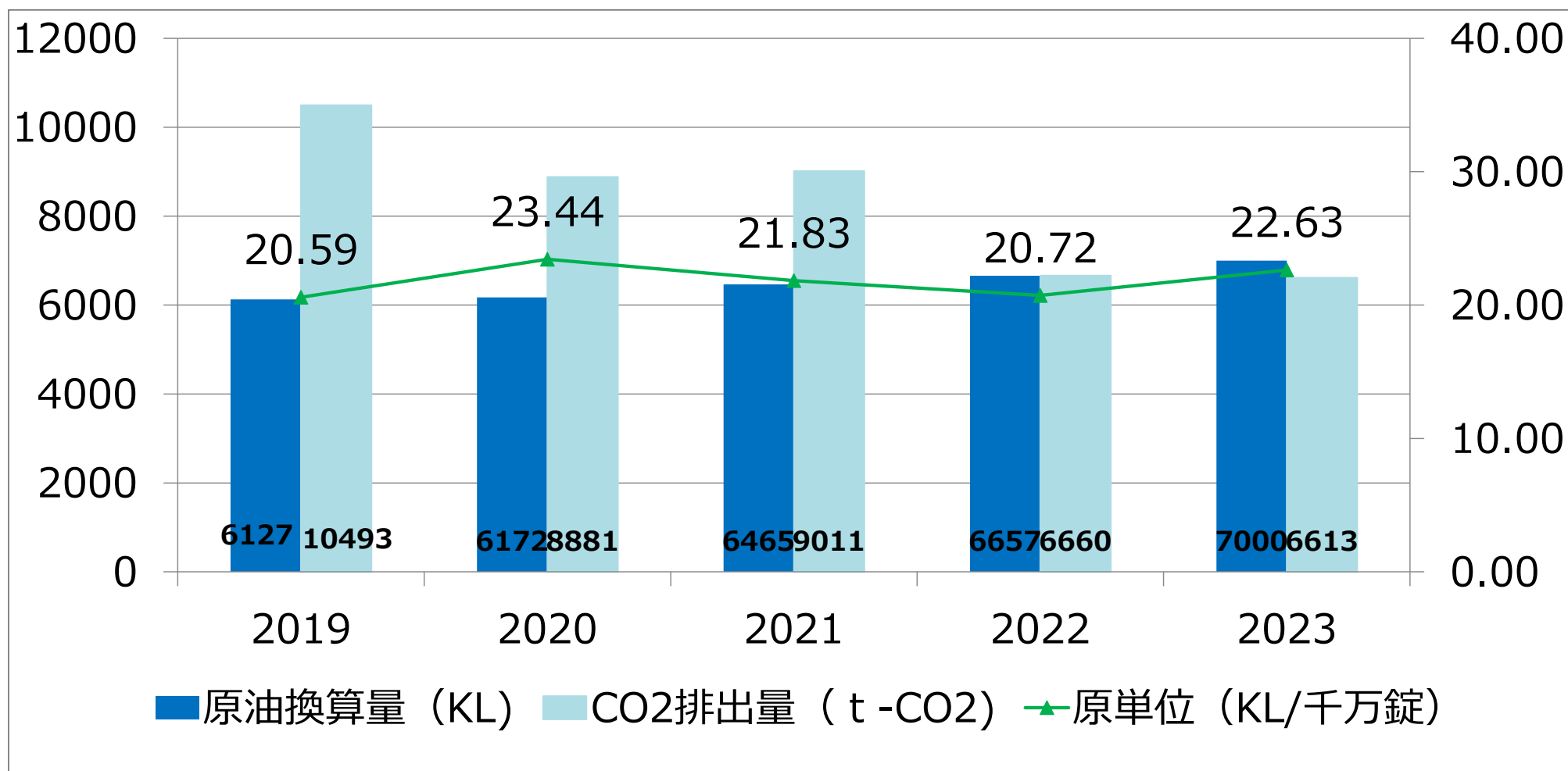
※3 一般廃棄物排出量は、焼却量を対象です。

※4 従業員数は年間の役員、パート、派遣社員を含む平均数を記載しています。

原単位の5年間推移



前年度比⇒原油換算量：105% CO2排出量：99% 原単位：109%



生産数量は大きく変わっていないものの、新棟の本格稼働が開始したことで
昨年度よりエネルギー原単位はやや悪化している

次年度環境経営目標設定書（2024年度）



岸和田工場 東サイト

項目	単位	2023年 実績値	2024年 目標値	2023年 実績比	目標設定理由/根拠
電気	kWh	11,449,882	11,335,383	99%	前年度実績値－1%
	t-CO ₂	3,538	4,330	99%	
燃料	都市ガス m ³	570,931	562,222	99%	前年度実績値－1%
	LPG kg	14,072	13,931	99%	前年度実績値－1%
	ガソリン L	2,249	2,024	90%	前年度実績値－10% ハイブリット車の導入、フォークリフトの電化
	軽油 L	370	370	100%	前年度実績値を維持 ±0% ※トラックの使用によるもののため、前年度実績値の維持で設定
	t-CO ₂	1,322	1,268	96%	—
一般廃棄物	kg	14,680	9,840	67%	前年度2・3月の平均実績値×12 ※生ごみ処理機導入後に加えてペーパータオル廃止後の実績を維持する
産業廃棄物	kg	468,910	439,150	94%	前年度実績値－（研究棟の什器、排水処理設備の汚泥）
水道	m ³	37,572	38,487	102%	前年度実績値－1% ※8・9月の実績はメーターの故障があった為、平均値に置き換え 38,876m ³ ×0.99としている

※電気はkWhの実績値から目標値を設定し、CO₂排出量は毎年発表される調整後排出係数を用いる

※目標値は四半期毎に見直しを行う



次年度環境経営目標設定書（2024年度）



岸和田工場 西サイト

項目	単位	2023年 実績値	2024年 目標値	2023年 実績比	目標設定理由/根拠
電気	kWh	2,106,707	2,106,707	100%	前年度実績値 ※前年度とほぼ同様の使用推移と想定
	t-CO ₂	651	805	100%	
一般廃棄物	kg	2,220	2,149	97%	前年度実績値 - 3% ※ペーパータオルの廃止
水道	m ³	2,116	2,408	114%	前年度実績値（1月～3月分は平均値で算出） ※前年度とほぼ同様の使用推移と想定

本社

項目	単位	2023年 実績値	2024年 目標値	2023年 実績比	目標設定理由/根拠
電気	kWh	107,541	118,177	110%	前年度の1人当たりの使用量×2024年度本社従業員数
	t-CO ₂	33	45	112%	
燃料	ガソリン L	1,397	1,397	100%	前年度実績値 ※四半期ごとに実状にあわせて再設定とする
	t-CO ₂	3.24	3.24		
一般廃棄物	kg	174.0	193.7	111%	前年度の1人当たりの廃棄量×2024年度本社従業員数

※電気はkWhの実績値から目標値を設定し、CO₂排出量は毎年発表される調整後排出係数を用いる

※目標値は四半期毎に見直しを行う

次年度環境経営目標設定書（2024年度）



和泉工場

項目	単位	2023年 実績値	2024年 目標値	2023年 実績比	目標設定理由/根拠
電気	kWh	9,288,008	9,687,092	104%	年間の生産数量に合わせて、電力使用見込みを算出し目標値とした
	t-CO ₂	0	0	—	
燃料	都市ガス m ³	474,463	526,963	111%	年間の生産数量に合わせて、電力使用見込みを算出し目標値とした
	LPG kg	1,821	1,890	104%	従業員比率から算出
	ガソリン L	811	390	48%	前年度では、設備導入のため想定していたより使用量が増加していた 今年度の目標は前年度の目標値を再使用とする
	軽油	168	366	218%	前年度目標値を使用 ※トラックの使用によるもののため、前年度目標値で設定
	t-CO ₂	1,066	1,183	108%	—
一般廃棄物	Kg	8,980	6,444	72%	前年度1月～3月の平均実績値×12 ※生ごみ処理機導入後に加えてペーパータオル廃止後の実績を維持する
産業廃棄物	kg	160,320	160,320	100%	前年度実績値 ※前年度とほぼ同様の使用推移と想定
水道	m ³	27,292	27,292	100%	前年度実績値 ※前年度とほぼ同様の使用推移と想定

※電気はkWhの実績値から目標値を設定し、CO₂排出量は毎年発表される調整後排出係数を用いる

※目標値は四半期毎に見直しを行う

環境経営目標の設定とその実績



項目 \ 年度		単位	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
CO ₂ 排出量	総CO ₂ 排出量	t -CO ₂ /年	6,734	6,647	6,613	7,634	7,557
	電力	t -CO ₂ /年	4,436	4,105	4,222	5,180	5,128
	燃料	t -CO ₂ /年	2,299	2,542	2,391	2,454	2,429
前年度比		%	—	99%	98%	115%	—
廃棄物量	総廃棄物量	t/年	584.16	611.20	655.28	618.10	611.92
	産業廃棄物	t/年	562.32	582.50	629.23	599.47	593.48
	一般廃棄物	t/年	21.86	28.70	26.05	18.63	18.44
前年度比		%	—	105%	112%	94%	—
水・総排水量		m ³ /年	65,163	73,918	66,980	68,187	67,505
前年度比		%	—	113%	103%	102%	—

※2023年度購入電力の二酸化炭素排出係数は、2023年度の電気事業者別排出係数(関西電力)の調整後排出係数0.309kg-CO₂/kWhを使用

※2024年度、2025年度購入電力の二酸化炭素排出係数は、2023年度の電気事業者別排出係数(中部電力ミライズ)の調整後排出係数0.382kg-CO₂/kWhを使用(和泉工場の非化石電力は除く)

※化石燃料の排出係数については、温室効果ガス総排出量算定方法ガイドラインVer. 1.0を使用

※一般廃棄物排出量は、焼却量を対象にしたもの。

※2025年度の目標は2024年度目標値から-1%で設定(ただし、2024年度の実績で目標値は見直す)

次年度環境経営目標設定書（2024年度）



方針 No.	年間活動目標	達成手段
1	省エネルギー化の推進 エネルギー原単位の対前年比1%削減 またはエネルギー使用量1%削減する	▪ 両工場の長期休暇時の設備停止（ボイラー・PAC・コンプレッサー等） ▪ 岸和田工場、和泉工場の非製造時の空調抑制
2	産業廃棄物の削減 排水量の削減	▪ 産業廃棄物の分別によるリサイクル率アップ ▪ 精製水設備の排水量削減を検討
3	ペーパーレス化の推進活動	▪ ワークフローシステムを推進し、紙使用量を削減
4	排水基準値の遵守（BOD・ジクロ）	▪ 岸和田工場の排水処理設備のPH管理強化 ▪ ヒューマンエラーによるジクロ排出の防止対策
5	周辺美化活動の強化	▪ 岸和田工場・和泉工場ともに近くのバス停や公園など公共施設まで清掃範囲を広げる
6-1	寄付活動の実施	▪ 寄付型自販機・有価物(紙・段ボール)の収益
6-2	献血活動の実施	▪ 両工場1回/年の活動実施

環境法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



★主な環境関連法規等

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの指摘及び訴訟も過去三年間ございません。
環境関連法規以外の要求事項(利害関係者)については新たに発生はありません。



《エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(省エネ法)》 ・ 特定事業者の指定 ・ エネルギー管理統括者の選任 ・ エネルギー管理企画推進者の選任 ・ 中長期計画書の提出 ・ 定期報告書の提出 ・ 第一種エネルギー管理指定工場の届出 ・ 第二種エネルギー管理指定工場の届出 ・ エネルギー管理者の選任・解任 ・ エネルギー管理員の選任・講習の受講	《フロン排出抑制法》 ・ フロン使用機器一覧の管理 ・ 簡易点検の実施 ・ 法定点検の実施 ・ フロン類使用機器の廃棄時の適正処理	《アルコール事業法》 ・ アルコール使用許可申請 ・ 変更の許可 ・ 帳簿管理 ・ 使用業務報告
《水質汚濁防止法》 ・ 特定施設の設置の届出 ・ 特定施設の構造等の変更の届出 ・ 排水水の排出の制限 ・ 事故時の届出	《廃棄物の処理及び清掃に関する法律》 ・ 産業廃棄物の運搬・処分 ・ 特別管理産業廃棄物の運搬・処分 ・ 保管基準 ・ 特別管理産業廃棄物管理責任者の選任 ・ 特別管理産業廃棄物の多量排出事業者 ・ 産業廃棄物管理票の交付 ・ 産業廃棄物管理票交付等状況報告書 ・ 処理困難通知	《労働安全衛生法》 ・ 安全衛生に関する資格者の選任、体制の確立 ・ 作業主任者の選任 ・ 化学物質有害性の調査 ・ 定期健康診断の実施 ・ 心理的な負担の程度を把握するための検査等 ・ SDS交付義務物質のリスクアセスメント ・ 化学物質規制に関する管理者、管理責任者の選任
《大気汚染防止法》 ・ 施設設置届 ・ 施設変更届 ・ 煤煙量等の測定	《毒劇物取締法》 ・ 毒物又は劇物の取扱 ・ 毒物又は劇物の表示	《有機溶剤中毒予防規則》 ・ 有機溶剤作業主任者の選任 ・ 局所排気装置の定期自主検査 ・ 掲示 ・ 有機溶剤等の区分の表示 ・ 作業環境測定の実施 ・ 健康診断の実施、結果報告
《下水道法》 ・ 水質測定、記録の保存	《消防法》 ・ 防火・防災管理者の選任 ・ 防火・防災対象物の点検 ・ 自衛消防組織 ・ 危険物保安監督者の選任 ・ 定期点検 ・ 消防用設備等の設置、維持 ・ 危険物貯蔵施設の設置届	《特定化学物質障害予防規則》 ・ 特定化学物質作業主任者の選任 ・ 局所排気装置の定期自主検査 ・ 掲示 ・ 作業環境測定の実施 ・ 健康診断の実施、結果報告 ・ 溶接ヒュームの健康障害防止措置
《騒音規制法》 ・ 設置届出 ・ 数変更届出	《道路交通法施行規則》 ・ 安全運転管理者の選任 ・ 運転者の運転前後のアルコールチェック	《グリーン購入法》 ・ 出来る限り環境物品等を選択するよう努める
《振動規制法》 ・ 設置届出 ・ 数変更届出		
《PRTR法》 ・ 排出量等の把握及び届出		

社内におけるSDGs活動紹介



■各課の取り組み



環境活動及びSDGsに全員参画を以って活動するために、課ごとに業務と環境活動及びSDGsを結び付けた取組目標を立て、活動を実施しています。

エコアクション21 各課の取組 ～業務と環境活動の関連付け～			
部署名	施設管理部 施設管理一課	所属人数 (施設、パートを含む)	13名
記入者			
主な業務内容	[庫和田工場] ●生産設備・治具等設備等の新規導入及び付帯工事 ●恒常的な安定稼働に向け、トラブル対応・定期点検・不具合に対する整備の実施 ●工程管理に関連する計器の定期校正 ●予防保全はもとより、改良保全・定期保全についても実施		
2023年度の取組目標 (SDGs関連No. 12)	1. 設備保全管理システム導入および実運用によるペーパーレス化にて紙使用量の削減 2. トラブル発生時、庫内から回答をプリントアウトして現場へ持ち込んでいたが、現場用の保全PCを導入することによるペーパーレス化にて紙使用量の削減 3. 蒸気リークロスが低減している部位について、「ねじ込み式」から「フランジ式」に変更することでリークロス低減ならびにトラブル復旧時の時間短縮 4. 廃棄予定設備より、ジャンク品ではない主要な機器を部品取りし、不測の事態に備える		
2023年度の取組実績	1. 設備保全管理システムの実運用が間に合わず未達 ✕ 2. 保全用PCの持ち込みにより紙使用量の削減 ○ 3. 蒸気リークロス発生部について、ねじ込み式→フランジ式に2件改修実施 ○ 4. 廃棄予定設備を廃棄せず、買取可能業者へ売却 (3件) ○ 5. E様手洗器における脱ペーパータオルに伴いジェットタオルへの設定切替 (全フロア) ○		
環境方針との関連性	☒ (1) ☒ (2) ☒ (3) ☐ (4) ☐ (5) ☐ (6)		
取組による効果	☒ コスト ☒ 時間 ☒ 廃棄物		
2024年度の取組目標	1. 設備保全管理システム実運用によるペーパーレス化にて紙使用量の削減 (No.12) 2. シクロ使用における「作業着」「環境」への環境低減に向けたハードの封じ込め対策の実行【No.3】 3. 処理活性の高い製剤に用いるクリーンブースのカンテン・グローブBOX等の劣化に伴う確実な補修の実行【No.3】		
備考 その他 (アピール)	[2023年度 売却/買取実績設備] ●カブセル充填機 (約1,200kg) の売却 ●カブセル重量チェッカー3号 (約500kg) の売却 ●NP社にて廃棄予定であった倍数量送機 (約200kg) の買取 2024年度も設備や機器の廃棄が伴う場合、売却先の検討によるユースや、故障機器の部品対応にて廃棄物を削減していきたいと思っております！		

■社内教育「5S活動」



新入社員を対象に「5S活動」の社内教育を実施し、業務の効率化による品質の向上、働きやすい快適な職場環境を推進しています。また、5S活動を推進することにより環境活動にも貢献しています。

5S活動＝環境活動＝品質の向上
働き甲斐のある良き会社にな！

5S活動 = 環境活動					効果の成果
5S	活動内容	目に見える効果	経営効果	効果の出る指標	
整理	不要な物を処分する	ほしいものがすぐ見つかる	仕事の効率が良くなる	売上高	コストダウン
		物を動かす作業が減る		残業時間数	
整頓	必要な物を誰でも一目でわかるようにする	発注ミスが減る	クレーム減少 ⇒ 信頼性の向上	生産数量	事故率減少
		無駄な動作が減る		事故率	
清掃	隅々まで綺麗にする	無駄な動作が減る	在庫の回転が良くなる	顧客数の増加	稼働率向上
		在庫数がひと目でわかる		リポート率	
清濁	3Sを維持する	過剰な在庫が減る	社員のモチベーションが高まる	クレーム率	作業時間短縮 (省エネ)
		気持ちよく作業できる		工程内不良率	
継続	良い習慣を身に付けルールを守る	会社に関わりを持つ		資本利益率	不良品削減 (廃棄物削減)
				在庫数	
				稼働率	快適な職場環境
				社員満足度	
				会社見学者数	
				改善提案件数	

社内におけるSDGs活動紹介



産業廃棄物のリサイクル活動



	廃棄物量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)
一般産業廃棄物	360.131	251.711	69.9%
特別管理産業廃棄物	269.095	158.880	59.0%
総合計	629.226	410.591	65.3%

工場・研究所から排出される廃棄物は一般的な廃棄物から製薬工場特有の廃棄物があります。出来るだけ多くの廃棄物をリサイクルできるよう処理業者の確認・選定を行っています。



産業廃棄物例



廃プラスチック類



汚泥

減容
別破
化碎

溶焼
融却

リサイクル例



再資源化



RPF化



焼却炉路盤材再資源化



改良土

社内におけるSDGs活動紹介

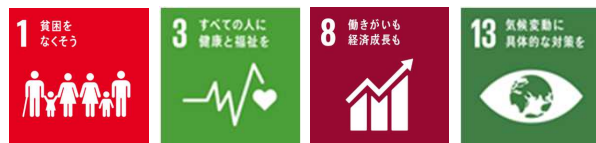


■アイシティECOプロジェクト

2024年2月から、アイシティECOプロジェクトに参加。

使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収し、ゴミとして燃やすのではなく、リサイクル製品として再生することでCO₂排出量の削減に繋がります。

また、障がい者の自立・就労支援を目的にリサイクル支援業務を中心に対象者を採用しているプロジェクトである。



工場・本社、すべての拠点で回収ボトルを設置しています。

■地域清掃活動

地域住民の方々とのコミュニケーション活動として工場周辺の地域清掃活動を定期的実施しています。

2023年度では近隣のバス停や公園まで清掃範囲を広げ年に2回ずつ活動を行いました。



■フードバンクへの寄付

有事の際のために工場で備蓄している食品のうち、賞味期限まで1カ月ほどの1,400食をフードバンクへ寄付しました。

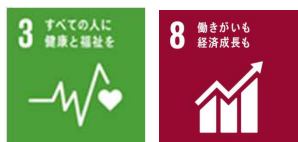


社内におけるSDGs活動紹介



■ 岸和田・和泉 両工場での健康づくりイベントの開催

健康経営の推進として、両工場での健康づくりイベントを開催しました。
1日に必要な野菜など栄養に関する内容や、たばこや糖尿病など健康に関する啓発コーナーが設置され、両工場あわせて約500名の従業員が参加されました。
イベント当日には健康メニュー（VOSメニュー）が提供されています。



VOSメニューとは
大阪府が定める野菜・油・塩の基準を満たす主食とおかずを組み合わせたメニューです！



■ エコキャップ運動

2017年6月より、エコキャップ運動を開始。
2023年度のエコキャップ実績は約48kg(約20,640個)
CO₂排出量削減量は151.2kg-CO₂



■ 企業献血活動

工場での献血活動を定期的 to 実施
2023年度は計74名の従業員が献血しました。



社内におけるSDGs活動紹介



■防災訓練、BCP机上訓練

コロナ禍で机上訓練などが続いていましたが、3年ぶりに実地での避難訓練や消火訓練を実施できました
また、数年ぶりに各拠点でBCP対策室や関連チームのメンバーが集まり
実際の被害を想定したBCP机上訓練も行うことができました



消火訓練



BCP机上訓練



■パン販売

東山自立センターの事業所内にあるパン工房ほのぼのパン「麦びより」が月に1回、岸和田工場や和泉工場でのパン販売を行っています。



■募金・寄付活動

廃棄物リサイクル・自販機利用費の一部を寄付し国内災害救護や社会福祉施設、盲導犬育成などに利用していただいています。
2023年度は合計344,769円の寄付を実施しました。



トピックス



★ 2023年 認定取得の実績

■ 健康経営優良法人

2024年3月11日付けで健康経営優良法人2024（中小企業法人）に認定されました
今後も従業員の健康増進と働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでまいります



■ くるみん

2023年6月27日にくるみん認定を取得
出産や育児の支援体制のある子育てサポート企業に対する認定制度です

仕事と子育ての両立支援対策や制度の充実を図り、社員が働きやすく、能力を発揮できる環境づくりを進めていきます



■ プラチナえるぼし

女性活躍推進法に基づく厚生労働大臣による認定制度の「えるぼし」を
2021年11月10日に取得後、大阪府下で初となる最高ランクの
「プラチナえるぼし」を2023年10月24日に取得しました！





2023年の環境影響実績

■ 岸和田工場・和泉工場 生ごみ処理機の導入

食堂運営開始により発生する厨芥ゴミの削減として生ごみ処理機を導入しました。
両工場にて7月末に導入し、一般廃棄物を大幅に削減。

◆ 効果

岸和田工場：約5 t 和泉工場：約2.5 t 合計7.5 t の生ごみを削減
(実績値は7月19日～2024年3月末の数値)

◆ 影響

- ・生ごみ処理機使用電力の増加



■ 和泉工場 再生可能エネルギー(非化石)電力の継続

2022年度から開始した非化石電力の継続使用により、CO₂排出量の削減を図っています。

◆ 効果

2023年度においては、約2,870 t -CO₂の排出削減しました。



■ 和泉工場フル実装化

2023年度に和泉工場の未実装エリアはすべて実装化され空調管理が開始された。
実装面積：約600m²

◆ 影響

- ・クリーンルームエリア拡充による電力・蒸気エネルギーの増加
- ・生産設備稼働による電力増加





★ 2024年の環境影響予測

■ E棟治験エリアの稼働開始

2022年11月に竣工したE棟での治験薬製造を開始予定。
廃棄物や廃液の発生や設備稼働により使用エネルギーの増加が見込まれる。

◆ 影響

- ・試験エリアの拡充による使用電力の増加
- ・治験製造による廃棄物、廃液の増加



■ 精製水設備の排水量削減検討

精製水設備は精製水の品質確保のため1回/週の頻度で熱水殺菌処理を行っている。
品質評価を行ったうえで可能であれば熱水殺菌処理の頻度見直しを実行する。

◆ 効果

- ・当該設備の排水量1/2（1回/2週間となった場合）
- ・当該設備の蒸気使用量1/2（1回/2週間となった場合）



エコ年表



★エコと共に歩んできた道のり

2007.9	EA21認証登録
2017.8	認証登録10周年継続企業表彰式
2017.10	エコ祭り（認証登録10周年記念イベント）
2018.2	第21回環境コミュニケーション大賞 優秀賞
2018.3	認証登録10周年記念樹(桜)
2018.10	認証登録10周年継続企業研修会 講演
2019.2	第22回環境コミュニケーション大賞 優良賞
2019.5	環境 人づくり企業大賞2018 奨励賞
2020.2	第23回環境コミュニケーション大賞 優良賞
2020.10	自販機利用費の一部を用いた寄付活動開始
2021.5	創立70周年記念植樹(桜・柑橘類)
2022.4	和泉工場 非化石電力導入開始
2023.06	くるみん 認証を取得
2023.10	プラチナえるぼし 認証を取得
2024.03	健康経営優良法人 認証を取得



創立70周年記念植樹



エコ祭り



エコカップ運動



自販機利用費の一部を用いた寄付活動



環境コミュニケーション大賞



環境活動レポート部門 環境経営レポート部門 環境経営レポート部門

代表者による全体評価と見直し・指示の結果

★総括

当社を取り巻く昨今の業界環境は、近年相次いだ不正製造などをきっかけに医薬品の供給不足が長期化しています。この供給不足解消のために品質向上と安定供給への取り組みが業界を挙げて進められる一方で、この問題を産業構造上の問題と捉え、業界として持続可能な新たなビジネスモデルへ転換する構造改革が進められようとしています。

2023年度の当社は安定供給のための生産能力増強として、要員面では対前年で+11%の増員を行い、ハード面では和泉工場のフル実装工事や岸和田E棟の本格稼働ならびに研究棟のリニューアルなどを行いました。しかし、品質などのトラブルにより生産量が対前年で約4%減少し、いくつかの環境負荷の削減目標が未達となりました。一方で、特に成果が上がった取り組みとしては一般廃棄物の削減があり、食堂から出る生ごみを水に変えて排水させる生ごみ処理機の導入、ジェットタオルの利用を再開したことでペーパータオルの廃棄が削減され、達成率110%となりました。



2024年度は、目標未達となった2つの項目（二酸化炭素排出量、産業廃棄物）の目標を達成すべく非生産時の空調抑制によるエネルギー削減や、産業廃棄物の有価買取によるリサイクル率アップを重点的に取り組んでください。また、年度方針に掲げた「コンプライアンスを強化する」取り組みの一環として環境面においても引き続き、法令遵守体制の維持管理をお願いします。最後に、SDGsへの取り組みについては、全員参画を促し更に拡大して取り組むようお願いします。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり：－
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり：岸和田工場新棟の竣工によるエネルギー使用量の増加を見込んだ目標値の設定
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり：



完 そして、新たなる
エコの旅へ・・・

全星薬品工業株式会社